

「安全最優先」が第二目標です

真剣ながらも穏やかな 径ヘルニア・胆嚢結石、急性胆嚢炎の3疾患は、最も多い。術後の平均退院日数は、ヘルニア2.2日、胆石3.5日、急性胆嚢炎3.2日となっている。

そして、内科との連携の良さも早期回復（退院）につながっており、例えば胆嚢結石の場合、胆汁の流れ道であるパイプ（胆管）に石が詰まっても、内科が迅速に内視鏡で胆管結石を除去して外科に紹介。スムーズな対処で、遅ければ重症化するケースを早期にしている。

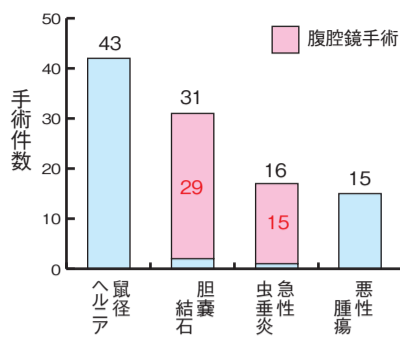
「ドクター同士の壁がなく、内科と外科が協力できている環境はありがたい。ゆくゆくは「2つの科をつむぎ合わせる」ことを目的としてやっていければ」としている（表2）。

「クリニカルパス」を用い、顔で受け入れてくれるのには助かります」と久保田部長。地域のつながりも強く、近辺の開業医とのやり取りも増えた。

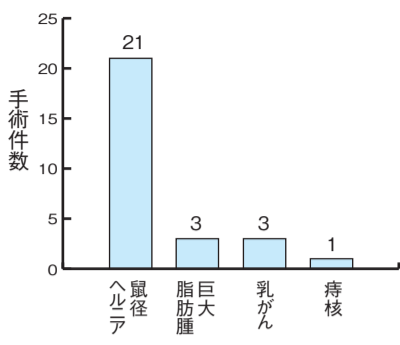
紹介患者の術後ケアや合併症の心配については手紙で報告しあう。「開業医との話を伝えると患者様はすごく安心され、共通の話題が気軽に増えるんですよ」と教えてくれた。

患者には、じっくりと話を聞き、メモリットも隠さず話す。納得を得てから次の説明へと進む。

【表1】最近一年間の主な手術内容 (2010年3月～2011年2月)



【表2】日帰り手術(当日・1泊)の内容 (2010年3月～2011年2月)

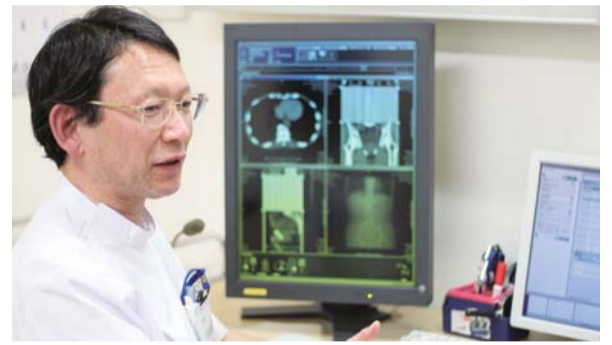


「奈良の方は、フンドローですよ」

「素科ではじめから笑顔で受け入れてくれるのには助かります」と久保田部長。地域のつながりも強く、近辺の開業医とのやり取りも増えた。

紹介患者の術後ケアや合併症の心配については手紙で報告しあう。「開業医との話を伝えると患者様はすごく安心され、共通の話題が気軽に増えるんですよ」と教えてくれた。

患者には、じっくりと話を聞き、メモリットも隠さず話す。納得を得てから次の説明へと進む。



「クリニカルパス」とは治療計画のこと。入院～退院までの流れをわかりやすく示し、安心できると患者から好評だ。パスは、医師と患者の誰がみてもわかるように意識しているという。



久保田 太輔 外科部長
日本外科学会専門医・日本消化器外科学会認定医・日本消化器病学会専門医・消化器がん外科治療認定医・日本検診マンモグラフィ読影認定医・近畿外科学会評議員

特徴

- 大阪市立大学医学部附属病院 第2外科・心臓血管外科の関連病院
- 時間外の診療についても積極的に対応
- 患者の不安軽減に努め、最後まであきらめずに根治を目指す

読者の方へのメッセージ

「気になるな」と感じたら、怖がらずに一度来てみてください。内科的検査だけでもOKです(笑)。また完治した患者様も「先生、ちょっと見て」と気楽にどうぞ。これからも当院ならではの環境を作っていきたいと思っております。

■外科 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
17:00～20:00		○		○		

休診日/日曜・祝日・土曜午後

「保険適用で治療の幅ひろがる」

やわらかい物腰の平林 最も件数が増えた病の症状の意見部長とじっくりと言葉を交換。これは、滲出型交換など医局選び話される。加齢黄斑変性症の治療の垣根を越えて、アットホームな雰囲気。法である抗血管新生薬。先生方から、患者と親身療法(薬剤注射)のこと。当院の強みだろに向き合う様子。放っておくと視野の中心が見えなくなり、日常の行動にも支障をきたす。行動にも支障をきたす。行動にも支障をきたす。行動にも支障をきたす。

「安心感」が

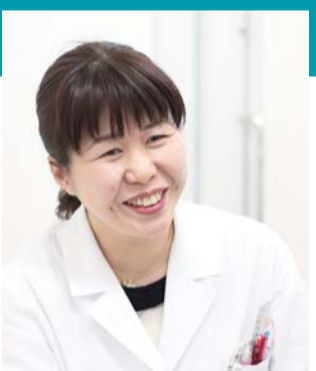
開院から3年。「当院が、注射で視力の維持や改善が見込める。この治療が保険適用扱いとなることが増加の理由であり、もっと患者の方に伝えている。2009年度は2番目だった硝子体薬液注入は、2010年度は2倍以上に増え、内科や脳神経外科との連携も整っている。糖尿

患者には極力難しいこととは言わないように説明が利くことと年配の方に喜ばれ、堺など遠方の方々も多数通院している。遠いところから来てくださる患者さん、お話を聞いてくださる医師、顔を合わせ、とことん話し合うことで、信頼関係を築くようにしている。

そして、近所の方や親戚に「よかったです」と聞いて来院されるケースが多く、世間話をしながら地域性を感じるそうです。また白庭台駅と直結した

「これぐらいで病院に行くのは…」とためらっている方は、診ないとわからないことがたくさんあるので、まずは怖がらず初診を。時間をかけゆっくりと向き合います。今まで他の病院では聞けなかったことなども聞いてください。

眼科

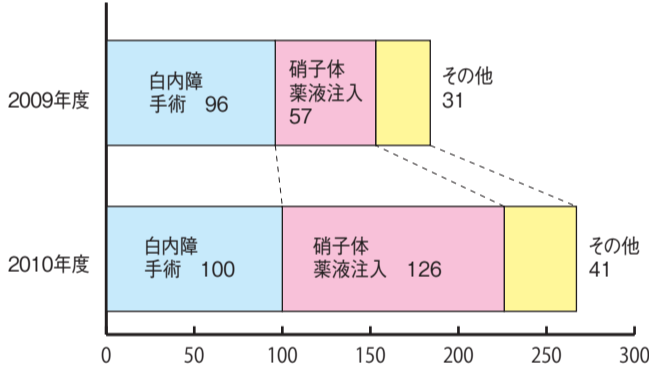


平林 倫子 眼科部長
日本眼科学会専門医・大阪市立大学視覚病態学教室非常勤講師・身体障害者福祉法指定医



趙 晃国 医師
日本眼科学会専門医・大阪市立大学視覚病態学教室非常勤講師

【表1】眼科手術件数の推移



「これぐらいで病院に行くのは…」とためらっている方は、診ないとわからないことがたくさんあるので、まずは怖がらず初診を。時間をかけゆっくりと向き合います。今まで他の病院では聞けなかったことなども聞いてください。

特徴

- 大阪市立大学医学部 視覚病態学教室の関連病院施設
- 高度治療は大学病院に迅速に紹介
- 最新機器を導入し、最善の治療を目指す

■眼科 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
14:00～16:00						
17:00～20:00	○	○	○	○	○	○

休診日/日曜・祝日・土曜午後

最新鋭のOCT(光干渉断層計)を導入し、0.5mmにも満たない厚さの網膜の断面を細部まで抽出することが可能。さまざまな眼底疾患の診断や治療方法の決定がスムーズに。



医療法人社団 松下会

白庭病院

しら にわ びょう いん

診療科目

内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、皮膚科、神経内科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、水頭症・物忘れ外来、骨粗鬆症外来、セカンドオピニオン外来、消化器センター、脳卒中センター、関節センター、脊椎センター

〔関連施設〕 東生駒病院、介護老人保健施設グランファミリア

〔交通アクセス〕 近鉄けいはんな線 白庭台駅下車すぐ

〔駐車場〕 病院前GSパーキングのみ会計時2時間迄無料



救急告知病院 一般病棟 100床、医療療養病棟 50床

☎0743-70-0022(代)

〒630-0136 奈良県生駒市白庭台6丁目10番1号 http://www.allpines.jp ■人間ドック予約専用電話 ☎0743-70-0095 e-mail: info@allpines.jp